

令和2年度北杜市総合教育会議 会議録 (要旨)

開催日時 令和3年2月16日(火) 午後3時30分

開催場所 北杜市役所 西会議室

出席者 委員
堀内正基教育長、小澤建二教育長職務代理者、古屋昭彦教育委員、
浅川英三教育委員、小林志保教育委員、藤森勇教育委員、
上村英司市長

教育委員会(教育部)

中山晃彦教育部長、堀内典子教育総務課長、三井喜巳学校給食課長、
廣瀬公明中央図書館長、田中和美教育指導監、白倉俊樹指導主事、
天池富貴男総務担当リーダー、柳澤信吾総務担当

事務局

山内一寿総務部長、加藤郷志総務課長、齊藤栄慶総務担当リーダー、
浅川輝栄総務担当

議題 (1) 北杜市立小中学校適正規模等検討の内容について
(2) 学校給食センターの在り方について
(3) 図書館の在り方について
(4) 北杜市の学校教育について
(5) その他

公開・非公開の別 公開

傍聴人の人数 2人

内容

1. 開会
(午後3時30分)
2. 市長あいさつ
3. 教育長あいさつ

4. 出席者紹介
5. 協議事項

会議招集者が市長であるため、市長が協議の進行役となる。

(進行)

「(1) 北杜市立小中学校適正規模等検討の内容について」を教育部に説明を
求める。

(教育部)

資料『北杜市立小中学校適正規模等検討の内容について』により説明。

(進行)

意見、質問を求める。

(委員)

市町村合併で北杜市の教育が一本化され市としての体制が充実してきた特色がある。児童にとって合併に伴う果実を考えると小中学校適正規模を考えることが1番感じてもらえることではないか。だからこそ善意の4校案だと思う。国や市の方針も今後の少子化状況によって変化していくので、丁寧に市民の要望を聞き適正規模の検討を続けていただきたい。

(委員)

4つ意見がある。1つ目に子供のアンケートを反映させるべきである。また、保育園の保護者からの意見も反映させてほしい。2つ目に規模が小さくなると教職員の数が減少してしまう。1つの教科につき1人の教職員になると先生同士も協力できず負担が増加してしまう。チームでできないことは大きな負担になるので理解をしていただきたい。3つ目に中学校の部活指導について。教員の働き方改革で休日の部活を地域移行する話があるが、平日の指導も教員の負担になるのでカバーする体制を整えてほしい。最後に北杜市の財政は合併特例事業債がなくなり令和5年から赤字になることが見込まれているが、適正規模を考え削減できるものは削減する方向で今後も一緒に検討していただきたい。

(教育部)

アンケートの実施については子供たちに説明しながら、現状維持か水平統合か垂直統合か、ただアンケートを取るだけではなく説明し理解してもらいなが

ら進めていく。また、教員不足に関しては非常勤職員や補助教員を北杜市独自に配置しているので理解していただくよう説明していく。また、子供の教育環境の充実が先頭に立つので資料等作りながら市民の理解を得られるようにしていきたい。

(委員)

理解を図ったうえで、先送りも後戻りもできない時期に来ているので対応をお願いしたい。

(進行)

令和3年度に議題の結論を出すことになっているが、現在のコロナ禍で遅れはないか。また、スケジュールはどうなっているか。

(教育部)

令和元年度から3年間審議会に教育委員会から諮問し答申してもらうスケジュールになっている。令和元年度は地域説明会を開催し地域市民に理解いただいた。令和2年度には前年度の話し合いをもとに細かい資料を作成・提供し、ワークショップにて理解してもらう予定だったがコロナ禍で開催が出来なかった。令和3年度は精力的にワークショップを開催し当初予定の令和3年度中の3月には審議会から答申をもらいたいと考えている。今後審議会を開き、スケジュールは議論していきたいと考えている。

(進行)

スケジュールについては今年度中に結論を出すということで異議はないか。

(委員)

ワークショップの資料について1点追加してほしい。学校統合に8校案や4校案がでてくるが、3校案が抜け落ちている。いきなり4校案を出すのではなく、前段階の各学年複数学級を目指しているということを追加したほうがいい。また、子供の成長期について、中学時代は疾風怒濤の時代で大きく成長するときであるので子供の視点で考えていただきたい。垂直統合という言葉も、メリット・デメリットを説明しないと難しい言葉なので理解してもらえないのではないかな。魅力ある北杜市、学校づくり、母校を大切に作る心、地域とつながりのある学校をつくっていききたいので案を盛り込んでいただきたい。

(教育部)

ワークショップの資料に先行事例等も載せているので参考にさせていただきたい。また、国からの最新情報も随時付け加えていく。子供の成長に関しては、心身ともに大事な時期のことなので審議会でもっと多く取り上げていきたい。

(進行)

「(2) 学校給食センターの在り方について」を事務局に説明を求める。

(教育部)

資料『学校給食センターの在り方について』により説明。

(進行)

意見、質問を求める。

(委員)

おいしくて安価な給食を提供していただき感謝している。このコロナ禍で外食から家庭での食事に変化している。この機会に子供たちに北杜市の食材に興味を持ってもらう施策を行ってほしい。身近に感じる、顔が見える、姿が見えるような情報発信をお願いしたい。

(教育部)

現在、学校給食感謝祭を行っている。今年度、明野小では野菜の生産者に来ていただき栽培過程の映像とともに講義を行ってもらい、食に対する感謝の心を育てる学習を行っている。また、毎月献立表を配布し、どんな肉や野菜を使っているか提示している。今後はこの献立表の有効な活用方法や同じものが家庭でも作れるよう工夫をしていく。

(委員)

食物アレルギーの実態はどうか。数は増えているのか、どんなアレルギーがあるか。

(教育部)

令和2年度のデータは牛乳停止48名、5品目除去19名、5品目以外のアレルギー等の理由で自宅からお弁当を持参21名。果物のアレルギーが多くなっている。

(委員)

施設の統合が大事である。南給食センターのような役割をまだ北給食センターが担えていないことが問題である。北給食センターに手を加え2施設への統合で十分だと思うので、市長の任期中に統合する努力をしていただきたい。

(進行)

しっかり検討していきたい。

(進行)

「(3) 図書館の在り方について」を事務局に説明を求める。

(教育部)

資料『図書館の在り方について』により説明。

(進行)

意見、質問を求める。

(委員)

情報化社会に対応する図書館で理想にしている図書館はあるか。

(教育部)

新潟県三条市に新たに電子のみの図書館が開館した。今後電子書籍の導入や、どんな図書館が理想的か検討していきたい。

(進行)

山梨県立図書館は賑わっているが、何が違うか分析しているか。

(教育部)

山梨県の中心であり、人も集中している。その中でも会議室等潤沢にあり制限付きで貸し出し、電子書籍も先行しており、学生の居場所になっているのも賑わっている理由だと感じる。

(委員)

市立図書館と学校図書館の連携を図り、地域の核となる場所になってほしい。今、特定非営利法人が行っている民間の図書館がある。病院の待合やマンション、老人ホームの共有スペースなどが小さな図書館となっている。このような取り

組みを柔軟に取り入れ、さらに人々が本に触れる時間が増えるようになればと思う。

(教育部)

民間の取り組みも調べながら本に関心を持ってもらうよう検討していきたい。現在の取り組みでは、長坂町の仁生園に宅配で本を届ける取り組みや、団体貸出制度で事業者にまとめて貸し出しを行っている。今後もこの取り組みは続けていきたい。

(委員)

小中学校への本の貸し出しや各図書館との交流はどうなっているか。

(教育部)

司書同士、各地区図書館、学校、中央図書館職員で定例会を行っており、意見交換をしている。また、学校への貸し出しも100冊程度の単位で行っている。

(委員)

違う視点から、16年間統合できず手が付けられていないのは問題である。問題点をあぶりだし、運営費等見える化することで現状困っていることを発信すべき。誰しも地域から図書館がなくなるのは嫌だが、その想いを尊重していられる問題でもなく、統廃合など何らかの方策を取りまとめる時期にあるのではないか。

(教育部)

今後統計等は提示していく。今後は外部の有識者を含めての協議会を立ち上げることも考えているので、その中で問題提起を行いデータを示しながら検討を進めていきたい。

(進行)

「(4) 北杜市の学校教育について」を事務局に説明を求める。

(教育部)

資料『北杜市の学校教育について』により説明。

(進行)

意見、質問を求める。

(委員)

ICT 環境も大事だが、あくまで子供たちは道具として使用している。原っぱ教育の根底でもあると子供と先生の直接かかわりあう教育を大事にしてほしい。今先生たちが多忙で子供たちは話しかけられないと聞く。先生同士の意見交換等も大事なのはわかるが子供との時間を 1 番に考えてほしい。

(教育部)

向き合う時間を取らなくてはならないと感じている。ICT 教育により各学校に電子黒板が整備され、1 人 1 台端末も配られるので子供たちのために有効活用していきたい。

(進行)

子供との時間を増やす案等あるのか。

(教育部)

絆の日というのを設けている。統一日という設け方はしていないが、休み時間等 1 日どれだけ子供たちと向き合うことが出来るか、日常のふれあいを大切にしようをお願いをしている。

(進行)

「(5) その他」について、意見、質問を求める。

(委員)

教育文化について。文協や体協が活発に活動してきたが、現在衰退している。自立化を推奨しているが、高齢者へ自立化を促されても難しい。以前のように市職員に事務局を持ってもらい、支所職員に地域にかかわってもらい活動を広げていきたい。

(委員)

退職した職員が地域に貢献するように人材を育てていただきたい。

(進行)

自立化を目指しているが、関わりを持って手を差し伸べなければと考えている。検討したい。

(教育部)

生涯学習課が所管しているが、委員視点、市長視点から検討していきたい。しかし、公共団体はたくさんあり、すべてを市が網羅するのは難しいので理解していただきたい。

(進行)

以上で協議事項を終了する。

(事務局)

以上で北杜市総合教育会議を終了する。

6. 閉会

(午後5時25分)